研修(講座)名	しまねの社会教育基礎講座(出雲会場)		
期日	令和6年7月9日(火)	時間	10:00~15:15
会場	サン・レイク	参加者数	29名
ねらい	●「しまねの社会教育で大切にしたいこと」について理解する。 ●講義・事例発表・演習を通じて、社会教育の役割や事業を具体的に学び、社会教育を 主体的に推進しようとする意識を高める。		
研修プログラム	【講義】 「社会教育の役割と県社会教育で大切にしたいこと」 出雲教育事務所社会教育スタッフ 企画幹 安井 寿裕		
	「沢っ子避難所生活体験お泊り会」 【 _{事例発表} 】 奥出雲町三沢公民館 主事 村尾 真智子 さん		
	【 演 習】「自分にできることを考えよう!」		
研修の様子	g _H 表表】		「事例発表」
	【演習】		【ふり返り】
参加者の感想	■楽しく活動を続けることが、多くのつながた。きっかけや、話のなかでの言葉を大切 ■演習では、意欲の高い方たちが多く、自 り演習が思ったより楽しめた。 ■演習での意見交換の場が非常に充まりで、地域の現状についてあまり知らなかった。 状を知ることができると同時に、島根のこと 「は事を今後に活かしたいと思う。」 ●参加させていただき、ありがとうございま 縁した方々の話を聞いて良い刺激になった。 ■参加させていただき、ありがとうございま はした方々の話を聞いて良い刺激になった。 「さることを楽しんでやってみよう。」 「ブループの対話がとてもよい交流となってきる行動をとっていきたいと思う。 ■ゴミセン職員としてまだ2年と少しだが、ま 理解ができた。これからの活動に対して意	にして取組へて 分も頑張りたい たが、たくさんで を更るに好き、 をす。これまで うという気持ちが た。人との研修をも	つなげたい。 いなという気持ちになった。何よ 、私は高校から島根に来たの の方の熱意を聞いて地域の現 なれた一日だった。 日分に足りなかった事やふり返り の活動をふり返り、演習でごー がわいた。つながりができて嬉し ながりをとおして、さらに自分に とおして社会教育について少し